

事業概要

2023年3月期

【基本方針】

当社は「北欧時間が流れる森と湖での体験を通じて、こころの豊かさの本質を提供する」を企業ミッションとして、埼玉県飯能市に所在する宮沢湖においてムーミンの物語の世界観を体験できる「ムーミンバレーパーク」を運営しております。当社は、来園されるゲストの皆様、株主の皆様、協賛企業、地元自治体・企業やお取引先企業をはじめとするあらゆるステークホルダーの皆様からの信頼と共感をもとに、企業価値を高めてまいります。

【経営環境】

当事業年度におけるわが国の経済は、2021年度に続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり厳しい状況となりましたが、2022年3月以降、まん延防止等重点措置が全面解除となり、行動制限が緩和され、景気は持ち直しの動きがみられました。一方で、急速な円安進行やロシア・ウクライナ情勢の影響による原材料価格やエネルギー価格の高騰もあり、力強さを欠くものとなりました。

このような状況の中、ムーミンバレーパークでは、引き続き、県が取り組むよう推進している感染拡大防止のガイドライン「彩の国『新しい生活様式』安心宣言」を踏まえ、「3つの密」を避けることなど新型コロナ感染症対策を実施し、来園者、従業員問わず、検温やこまめな手指消毒や施設内の消毒の感染対策を徹底し、営業を続けました。

2022年4月以降、3年振りに外出自粛要請がなくなり、4月から6月は、2021年度を上回る来場者数となりましたが、7月以降は新型コロナの第7・8波や週末の悪天候が重なり、その結果、来場者数について年間計画46万人は未達の状況となりました。

ムーミンバレーパークでは多くのゲストに楽しんで頂けるよう、イベントとしては、「Well-being」のコンセプトに基づき以下の施策を実行いたしました。

2022年春には、毎年恒例となりました「Spring Festival」にて「花手水(はなちようず)」をアレンジした「Floating Flower Walk ～ムーミンバレーパークの花手水～」を開催しました。また、好評である「ムーミン谷とアンブレラ」を行いました。

夏には、「霧に包まれた幻想世界へ出かけよう！」として、「ムーミン谷の雲海 2022」を開催。8月9日ムーミンの日には、「メッツァ花火大会 2022」を開催しました。

秋には、「ムーミンバレーパークのハーベスト 2022～」を行い、芸術の秋を満喫する企画として、生演奏のライブパフォーマンスイベントや限定ワークショップを開催しました。

冬イベントとして「ムーミン谷のナイトウォーク～イルモリノオト～」を実施しました。「夜の訪れと共に、ムーミンバレーパークのエリアが拡大！見るだけじゃない、没入する、新しい光と音のセカイ。」として、多くのお客様に好評をいただきました。

以上の結果、当事業年度における業績は、売上高2,420百万円(前年同期間は2,225百万円)、営業損失309百万円(前年同期間は営業損失658百万円)、経常損失525百万円(前年同期間は経常損失863百万円)、当期純損失546百万円(前年同期間は当期純損失854百万円)となりました。

株式会社ムーミン物語 第10期決算公告

埼玉県飯能市大字宮沢327番地6

株式会社ムーミン物語

代表取締役社長 伊東 久美子

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	669	流動負債	3,279
現金及び預金	315	買掛金	60
売掛金	77	短期借入金	531
商品	134	関係会社短期借入金	500
原材料及び貯蔵品	25	リース債務	257
前払費用	41	未払金	1,773
未収入金	21	未払費用	51
関係会社短期貸付金	23	未払法人税等	3
その他	31	預り金	3
固定資産	6,346	賞与引当金	20
有形固定資産	4,839	その他	77
建物	85	固定負債	4,710
構築物	144	長期借入金	255
機械装置	26	リース債務	4,454
車両運搬具	0		
工具器具備品	156	負債合計	7,990
リース資産	4,426	(純資産の部)	
建設仮勘定	0	株主資本	△974
無形固定資産	20	資本金	50
ソフトウェア	20	資本剰余金	4,252
投資その他の資産	1,486	資本準備金	2,151
関係会社株式	8	その他資本剰余金	2,101
関係会社出資金	480	利益剰余金	△5,276
関係会社長期貸付金	754	その他利益剰余金	△5,276
その他	243		
		純資産合計	△974
資産合計	7,016	負債・純資産合計	7,016

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

科目	金額	
売上高		2,420
売上原価		2,199
売上総利益		220
販売費及び一般管理費		530
営業損失		△309
営業外収益		
受取利息	12	
匿名組合利益	29	
助成金収入	29	
その他	10	82
営業外費用		
支払利息	296	
その他	1	298
経常損失		△525
特別損失		
固定資産除却損	17	17
税引前当期純損失		△543
法人税、住民税及び事業税		3
当期純損失		△546

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 資産の評価基準及び評価方法
 - 有価証券の評価基準及び評価方法
 - 関係会社株式
 - 移動平均法による原価法によっております。
 - 匿名組合出資金
 - 匿名組合の出資時に「匿名組合出資金」を計上し、匿名組合が獲得した純損益の持分相当額については、営業外損益に計上するとともに同額を「匿名組合出資金」に加減する処理を行っております。
 - (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
 - 商品
 - 総平均法に基づく原価法によっております。
 - 原材料
 - 総平均法に基づく原価法によっております。
 - 貯蔵品
 - 最終仕入原価法に基づく原価法によっております。
 - (3) 固定資産の減価償却の方法
 - 有形固定資産(リース資産を除く)
 - 定率法を採用しております。
 - ただし、建物及び構築物については定額法によっております。
 - なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	7～35 年
構築物	10～20 年
機械装置	17 年
車両運搬具	2～4 年
工具器具備品	2～20 年
 - 無形固定資産
 - 定額法を採用しております。
 - なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。
 - リース資産
 - 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
 - 自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。
 - 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
 - リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
 - (4) 引当金の計上基準
 - 賞与引当金
 - 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。

(5) 収益及び費用の計上基準

当社は、以下の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しております。

ステップ1: 顧客との契約を識別する。

ステップ2: 契約における履行義務を識別する。

ステップ3: 取引価格を算定する。

ステップ4: 契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ5: 履行義務を充足した時に又は充足につれて収益を認識する。

当社はテーマパーク事業を運営しており、顧客との契約から生じる収益に関する主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点(収益を認識する通常の時点)は下記のとおりであります。

① 入場料売上

「ムーミンバレーパーク」に係る入場料売上については、テーマパーク内の施設の提供が履行義務であり、入場チケットの利用日に履行義務が充足されるものとして、一時点で収益を認識しております。

② 物販・飲食売上

「ムーミンバレーパーク」における物販・飲食売上については、顧客に商品を引き渡した時点で収益を認識しております。なお、物販売上のうち、当社が代理人に該当すると判断したもののについては、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末の発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式 6,854 株

3. 収益認識に関する注記

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、「1.重要な会計方針に係る事項に関する注記 (5)収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

4. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。